

授業科目名	教育臨床学演習
科目番号	CB23062
単位数	1.0 単位
標準履修年次	3 年次
時間割	春C月3,4
担当教員	庄司 一子
授業概要	現代の児童・生徒の問題、あるいは学校、教師、保護者、教育環境や地域社会の問題の理解、究明、援助について演習と実習を通して学ぶ。教育臨床に関する学術論文を受講生がレポートし、集団討議する。また援助の技法を学ぶ。
備考	対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学における総合的思考力、教育学的実践力、教育学的応用力、教育学的課題解決能力
授業の到達目標（学修成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の発達と成長における子ども、児童・生徒の発達を解明する研究法の基本を理解できる。</li> <li>・教育における児童・生徒の心の働き、児童・生徒の問題の理解の方法、指導・援助の基本技法の知識を身につけている。</li> </ul>
授業計画	<p>現代の教育のさまざまな問題、および学校、児童・生徒、教師が抱えるさまざまな問題について、理論的に検討し、考察を深め、対応と援助についての臨床を演習を通して学ぶことを目的とする。このため、まず教育の場における問題（テーマ）に関する学術論文を読み、実際（データ）と変化、背景と原因、従来との関係理論、対応についてこれらについて集団討議する。</p> <p>具体的には、演習の履修を通して、教育臨床の視点、児童生徒の問題の理解の仕方、不適應のメカニズム、精神病理学、カウンセリング・心理療法の理論に基づく児童生徒と教育における臨床的問題の解明や援助、アプローチを学ぶ。本演習の履修においては教育臨床学を履修していなければならない。</p> <p>第1回 オリエンテーション 教育臨床とは、 児童・生徒の問題の理解の方法・研究法(概論)，研究論文の読み方,理解，まとめ方</p> <p>第2回 研究方法の理解(文献の検討を通して)-児童生徒の問題の理解と解明の方法 (1) 観察</p> <p>第3回 研究方法の理解(文献の検討を通して)-児童生徒の問題の理解と解明の方法 (2) 実験</p> <p>第4回 研究方法の理解(文献の検討を通して)-児童生徒の問題の理解と解明の方法 (3) 調査法- 1</p> <p>第5回 研究方法の理解(文献の検討を通して)-児童生徒の問題の理解と解明の方法 (4) 調査法- 2</p> <p>第6回 研究方法の理解(文献の検討を通して)-児童生徒の問題の理解と解明の方法 (5) 調査法- 3</p> <p>第7回 研究方法の理解(文献の検討を通して)-児童生徒の問題の理解と解明の方法 (6) 面接- 1</p> <p>第8回 研究方法の理解(文献の検討を通して)-児童生徒の問題の理解と解明の方法 (7) 面接- 2</p> <p>第9回 各自の問題意識を中心とした児童生徒の問題の理解と解明—研究論文レポート—事例研究(1)</p> <p>第10回 各自の問題意識を中心とした児童生徒の問題の理解と解明—研究論文レポート—</p>

授業計画	事例研究(2) 第11回 授業のまとめ 授業外における学習方法：関心のある学術雑誌から海外のものも含め研究論文を読むこと。
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への出席・参加、レポートを重視して総合評価する。</li> <li>・【割合】出席状況(70%)は単位認定の前提条件である。その上で、レポート(80%)+集団討議への参加(20%)を総合的に評価する。</li> <li>・【評価基準】提出されたレポートを通して、研究方法の基礎、および児童生徒理解、援助の指導等を理解したと判断された場合、合格(A+, A, B, C)のいずれかの評価となる。いずれの評価になるかはレポートの内容、態度、出席状況を総合的に評価する。</li> </ul>
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	<p>学修時間の割り当て：準備(20%)，レポート(80%)</p> <p>学修外における学修方法： 本授業は演習の授業のため、基本的に学生の主体的研究テーマの選択と関連する書籍および文献等の検討を通じたレポートと集団討議を中心として授業を進める。</p>
教材・参考文献・配付資料等	特に指定しないが、必要に応じて重要文献を配布する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	研究室:D315 木曜15:00~16:30
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	<p>教育や学校, 児童生徒など教育に関わる問題や児童生徒への支援についての問題意識をもって受講してもらいたい。</p> <p>欠席の場合は特に措置はしない。</p>
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	人間の成長・発達の理解, 研究法, 問題の援助と技法